

# 鳥取県では、T-G2 レベルの「NE-STな家」を推奨します。

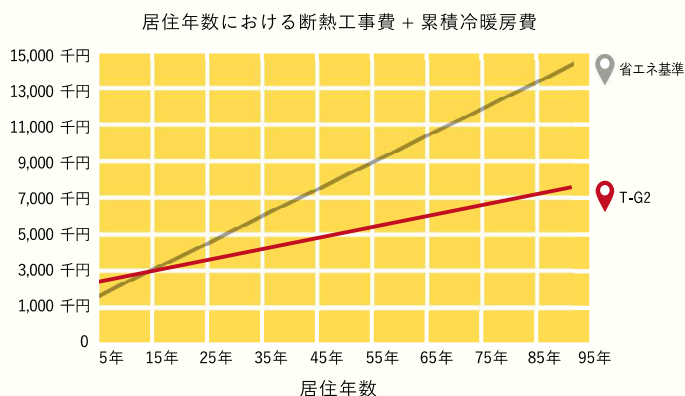
断熱性能、気密性能を3段階のレベルを設定しました。鳥取県では、経済的でかつ快適に生活できる T-G2 レベルの家づくりを推奨しています。

	国の省エネ基準	ZEH	とっとり健康省エネ住宅性能基準「NE-STな家」		
			T-G1	T-G2	T-G3
備考	2025年国義務化基準 (H11策定)	2030年国義務化基準	冷暖房費を抑えるために必要な最低限のレベル	経済的で快適に生活できる推奨レベル	優れた快適性を有する最高レベル
断熱性能 UA値*1	0.87	0.60	0.48	0.34	0.23
気密性能 C値*2	-	-	1.0	1.0	1.0
冷暖房費削減率	0%	約10%削減	約30%削減	約50%削減	約70%削減
世界の省エネ基準 (UA値) との比較					

\*1\_UA値：建物外表面から外部に逃げる熱量を示す指標。値が小さいほど熱が逃げにくく、断熱性、省エネ性が高い。  
 \*2\_C値：建物の床面積当たりの隙間面積を示す指標。値が小さいほど気密性が高い。

## 「NE-STな家」は、コストパフォーマンスがいい。

高断熱・高气密の家にするには、設計・建築におけるインシヤルコスト(初期費用)は多少かかります。しかしその分、少ない冷暖房費ですみますのでランニングコスト(月々の継続的費用)を抑えることができます。T-G2レベルの「NE-STな家」の場合、計算上では約15年でプラマイゼロに。以降のことを考えると、より経済的になります。



## 「NE-STな家」には、最大200万円の補助金が。

県産材を10㎡以上または内外装材に20㎡以上使用した「NE-STな家」には、補助金があります。詳しくは県庁住まいまちづくり課へお問合せください。

未来型省エネ住宅 特別促進事業\*1
+
住まいる支援事業\*2
=
200万円

\*1 ZEHの場合 T-G1:60万円 T-G2:80万円 T-G2:100万円  
 ZEH以外の場合 T-G1:10万円 T-G2:30万円 T-G2:50万円  
 \*2 「住まいる支援事業」とは県産材を活用する新築戸建て住宅に対する補助金です。

## 「NE-STな家」をつくるには、知識と技術が必要です。

「NE-STな家」をつくれる設計・建築業者の情報等、詳しくは、HP(ホームページ)をご覧ください。鳥取県の相談窓口へお問い合わせください。

県庁住まいまちづくり課 TEL 0857-26-7398 FAX 0857-26-8113

とっとり健康省エネ

県庁公式ホームページ「とりネット」  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/ne-st/>

